

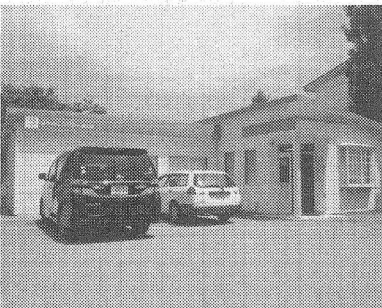
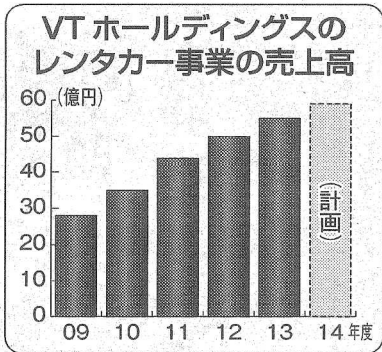
VTHD レンタカー店舗拡充

サイト強化で個人獲得

VTホールディングスは2014年度にレンタカーの店舗数を前年度末比約1割増の約120店舗とする。車両の所有から利用へと顧客ニーズが変化の中でレンタカー市場は拡大が見込まれており、店舗を拡充してレンタカー事業を強化。同年度のレンタカー事業の売上高を前年度比5・5%増の59億円とする。

今年度120店舗に

レンタカー子会社のJ-netレンタリース 教を、14年度に約10店舗新設する計画。店舗展開(名古屋市中区)の店舗が少ない東北地方や四国に直営店33、フランチャイズ店79の計112店舗を新設した。新規出店のほか、予約サイトの強化などで個人顧客を獲得する。同社は3月末時点で全国に直営店33、フランチャイズ店79の計112店舗を持つ。13年度には直営店3、フランチャイズ



J-net レンタリースの高山店

地方での出店を検討している。新規出店のほか、予約サイトの強化などで個人顧客を獲得する。同社は3月末時点で全国に直営店33、フランチャイズ店79の計112店舗を持つ。13年度には直営店3、フランチャイズ

店8の計11店舗を新設した。新規出店の効果により、売上高、経常利益ともに過去最高を記録した。現在、レンタカーの保有台数で業界6位にいる。全国レンタカー協会の統計によると、13年3月末時点のレンタカー車両数は前年同期末時点比約6・8%増の約50万台。このうち乗用車が同6・4%増の約27万台で4年連続で前年より増加している。車両の所有から利用にニーズが変化しており、レンタカー市場は今後も拡大が期待されている。特に法人では固定費削減のために、社用車を減らす動きがあり、法人向けレンタカーの需要が増えている。

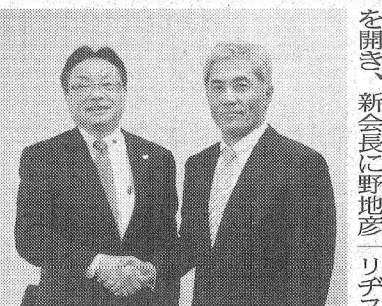
「安全・環境 基軸に」

JATMA 野地新会長が就任

日本自動車タイヤ協会(JATMA)は27日、選任した。任期は2年。津谷正明前会長(61、ブリヂストン最高経営責任者(CEO))は顧問に就任した。同日会見した野地会長は「自動車タイヤ産業の持続的な発展に貢献していきたい。自動車握りする野地新会長(左)と津谷前会長(右)と津谷前会長

保安部品としての安全対策と環境対策の二つが、引き続き活動の基軸になる」と述べた。安全対策について、野地会長は「タイヤの空気圧管理の重要性をさらにPRしていく」と説明。津谷前会長も「空気を適正に保つことの重要性が、まだまだドライバーに知られていない」と指摘し、啓発活動強化の必要性を訴えた。

一方、環境対策について、野地会長は「JATMA独自のラベリング制度が定着し、2013年は市販用夏タイヤの販売で低燃費タイヤが6割を



握りする野地新会長(左)と津谷前会長(右)と津谷前会長

「事業活動に影響なし」

自工会 戦略拠点変わらず

授業を今年度以降も継続し、市場を活性化させる方針を明らかにした。タイの新車販売が低迷している原因について、

授業を今年度以降も継続し、市場を活性化させる方針を明らかにした。タイの新車販売が低迷している原因について、

授業を今年度以降も継続し、市場を活性化させる方針を明らかにした。タイの新車販売が低迷している原因について、



水野善仁氏

ダイワエクセル社長

メッキ加工を手がけるダイワエクセルの3代目社長。1962年に祖父が創業し、父である水野親則会長からバトンを受けた。「営業力を強化して新規顧客を開拓したい」と意気込んでいる。9割以上の仕事は自動車向け。燃料パイプの内面など複雑形状の部品にメッキを施す技術に定評がある。だが、自動車生産の海外移転が進む中、事業範囲を広げなければ頭打ちだ。「今年度は展示会にも初めて出展して来場者の反応を見たい」とトップセールスで技術力を売り込む。

技能伝承も課題。この数年間で熟練技術者が定年退職し、現場の平均年齢は30代になった。メッキは結果を見ないと分からず、トライ・アンド・エラーの繰り返し」と人材育成に時間がかかると。技術担当の親則会長と二人三脚で技能の伝承に取り組む。3歳の男児と1歳の女児の父。休日は長男が好きな電車で一緒に乗るほか、遊園地で遊んでリフレッシュする。

(名古屋・今村博之)

02年(平14)東京理科大学卒業、同年キャリアビジョン入社。05年ダイワエクセル入社。09年業務部長、10年製造部長、12年取締役、13年常務。愛知県出身、35歳。4月1日就任。(名古屋市中区香流橋1の1の24)

技術力をトップセールス